

平成30年度第1回いわき市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時 平成30年11月14日（水）13：30～15：00

場 所 市本庁舎8階 第8会議室

出席状況 17名中15名出席：過半数の出席者により会議成立
（市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第31条第2項）

会 長 大槻 雅彦 出

副会長 高崎 祥子 出

委 員 池端 美雪 出 梅村 一之 欠 赤津 剛洋 出

押手 茂克 出 檜村 郁雄 出 國友 孝子 出

坂本 勝以 欠 白土 正衛 出 豊田 銀子 出

西山奈津江 出 根本 宏 出 人見 順子 出

松尾 幸治 出 武者 鐵重 出 吉原 秀治 出

事務局 ごみ減量推進課課長、課長補佐、計画係長、係員1名計4名

議事

- (1) 平成29年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績について 【資料1】
- (2) 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について 【資料2】
- (3) 平成30年度上半期のごみ処理実績について 【資料3】
- (4) 食品ロス削減対策について 【資料4】

<<会議の成立>>

委員17名中15名の出席により「いわき市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第31条第2項の規定による過半数を満たしており、会議が成立していることを事務局より報告。

<<議事>>

(1)平成 29 年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績について

- ・ 【資料1】により事務局説明
（質疑等なし）

(2)一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の数値目標の達成状況について

- ・ 【資料2】により事務局説明

（梅村委員）

組成調査結果においても「生ごみ」が占める割合が多いことが分かる。

水分を切るといった工夫で、生ごみの減量化につながるのではないかと。

〔事務局〕

委員の意見にもあるように、生ごみ重量のほとんどが水分であります。

市民に対しまして、分かりやすい周知を行い減量化に結びつく普及啓発に努めてまいります。

(3)平成 30 年度上半期のごみ処理実績について

- ・ 【資料 3】により事務局説明
(質疑等なし)

(4)食品ロス削減対策について

- ・ 【資料 4】により事務局説明

(池端委員)

- ・ 福島県「食べ残しゼロ協力店事業所」について
だれでも認定されるのでしょうか。
また、募集が始まった後の効果等は表れているのでしょうか。

〔事務局〕

食品ロス削減のため、福島県が進める食べ残しゼロの認定要件としては、6つの項目から2つ以上に該当すれば認定されることとなっています。認定項目としては、食べ残しゼロの呼びかけの実践、食材の仕入れ又は使い切りの工夫等、別紙に添付しました認定要件がそれにあたるものでございます。加入後は、認定証、啓発ポスターなどが支給され、ホームページ等で加盟店一覧の照会がされています。

加盟店舗が随時増えておりますが、現在のところ効果についての把握には至っておりません。

(西山委員)

主婦の立場で子供と食品ロス対策に取り組む際、いわき市としては、どのような取り組みにしていくのか。

〔事務局〕

本市では、全国市町村の取組み等を参考にし、有効な方法を取り入れてまいりたいと考えています。

(吉原委員)

- 小売店の取組みとしては、営業時間内に来客した人に対し、食品を提供できない事はできず、ある程度のロス率が出てしまうものになります。
ここ数年、食品残査を家畜飼料としたり、試験的ではあるがバイオマス発電に廃棄物を活用する取組みを始めています。

(人見委員)

- 「広報いわき記事」にフードバンクを取り上げていただいたところですが、世間一般でも、「食品ロス対策」にかかる関心がメディアなどで多く取り上げられています。
震災の時などは、食べ物が重要であると認識されたところではありますが、時間の経過とともに、食べ物の大切さを忘れがちになっています。
現在、自分が所属する団体では食品集めのルートを構築しておりますので、皆様の御協力をお願いしたい。